



本 庄

ロータリークラブ会報

47-9 第2257回 例会 9月3日(木) 2009年9月10日(木) 発行

2009~10年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー 第2570地区 ガバナー 加藤玄静
会長 田中 克 会長エレクト 戸谷清一 副会長 武井包光 副会長 杉山淑子 幹事 今泉憲治

《本日の例会》

国際奉仕部門委員長・On To モントリオール委員長
茂木 正 様 卓話

進 行 S A A 福島文江
点 鐘 午後 12 時 30 分 田中 克 会長
国 歌 君が代
ソング 奉仕の理想

〔会長挨拶〕 田中 克 会長



皆様、こんにちは。本日も御苦労様です。朝晩大変涼しくなり、職業奉仕にロータリー奉仕に活躍しやすい季節になりました。

本日の来訪者を紹介致します。国際奉仕部門委員長 On . To モントリオール委員長の茂木正様です。のち程卓話をお願い致します。

昨日はガバナー公式訪問の随行者として志木RCへ茂木正会員と田中で同行致して参りました。公式訪問例会とクラブ協議会に出席させて頂きました。次年度のガバナーエレクト(西川武重郎氏)輩出クラブで非常に活気あるクラブ運営がなされ、新入会員2名の入会式も執り行われ、又、各委員会報告も活発な方針が発表されたりして大変勉強になりました。本日9月の理事会が開催されました。

第四グループのIMの日程が変更になりました。

1月30日 2月19日

新入会者小山雅彦氏の入会が承認されました。

秋の移動例会に武田ガバナー補佐、地元上田東RC会長幹事御夫妻を招待。

クラブ在籍 20 年以上の会員と現クラブ執行部の合同会議(8月29日)開催。クラブ運営、表彰諸規定検討。

ア) 女性会員の集い(9月から10月)開催

イ) 若い年代層の集い(40~50歳代)開催。

9月11日6時30分から第四グループ会長幹事会開催。

9月11日~12日米山研修旅行 奨学生 坂本優蔵委員長

9月13日 地区財団セミナー

田中会長 下山正男委員長出席。

モントリオール世界大会の参加者要請(約20名)

次回理事会 10月1日11時~12時 グランドホテル本庄ライオンズから10月6日のチャリティゴルフコンペの御案内がありました。

以上、挨拶と報告と致します。

〔幹事報告〕 今泉憲治 幹事

みなさんこんにちは。茂木正地区国際奉仕部門委員長、モントリオールオンツー委員長様本日はご多用の中当クラブの卓話によるご越しくさいます。それでは幹事報告をいたします。

ガバナー事務所より「入間川七夕祭りの記事が8月9日付け毎日新聞に掲載され、狭山、狭山中央の二つのクラブの写真が大きく報道されたとのお知らせが届いております。

2009-10年度RIカタログが届いております。

11日は第四グループの会長幹事会が当グランドホテルで開催されます。

8日は4Cゴルフコンペがこだまゴルフクラブで開催されます。参加者の皆様よろしくお願ひいたします。

ロータリー囲碁同好会から「第8回ロータリー全国囲碁大会開催」のお知らせが届いております。

〔奉仕プロジェクト部門セミナー報告〕

五十嵐敦子 会員



〔卓 話〕

国際奉仕部門委員長・On To モントリオール委員長
茂木 正様



平素国際理解と奉仕にご理解とご協力をいただきありがとうございます。ごうございます。

今私は地区に出向させていただき、国際奉仕部門委員長というお役で活動をさせていただいておりますが、多くの青年たちと交流させていただく中で感じていることや、また地区で行っているネパールへの支援も、一昨年現地に行っ

て見てきたことも少しお話をさせていただきたいと思

います。

このロータリークラブの活動の原点は奉仕、それも広く世の中や海外に目を向けることであると思

います。よく海外どころかまずは、足元に目を向けてといわれますが、それもおっしゃるとおりです。しかし青年たちを見ていて、今自分達が享受している生活や環境が、この世界で当たり前と考

えているような気がしています。それは青年たちの自覚の不足ということもあるでしょうし、結果として日本の青年たちは世界の、それも開発途上の国の青年たちに比べると、日本の青年たちが精神的に幼いような気さえしています。

オーストラリアやネパールに限らず、可愛い子には旅をと昔から言われているように、機会を見つけては海外に送り出したいと願っています。それも単に旅ということだけではなく、行った地域になるべく入り込んで体験させること、自分達との生活の違いや、考えを体験することによって、ずいぶんと考えが変わってくると思

います。自分の置かれている環境がどんなに恵まれているかを、是非感じてほしいとおもっています。

外に出ることによって自分が見えてくる、自分の国のこれからのあり方さえ考えられると思えるのです。戦争は良くないことに決まっていますが、それを選ばずには済まなかったこと、また今でも戦争が国際紛争を解決するための一つの手段としているのがこの世界であること、過去に戦争をしたことは世界で日本人が一人で悪くて犯した犯罪と思

っている若い人がいる、また教育がそう教えている、そうした考えを正すことが大切だと考えています。私たちは自分たちのこの国を守るためにこそ働き、そしてその意思を親祖先から引継ぎ、もっと豊かな平和な国にするためにこそ生かされていると思

っています。

話はそれですが、今から約 400 年前、仙台藩の伊達政宗は、支倉常長を 180 名の人員と共にスペインに送っています。当時の最先進国スペインとの通商という目的のためでしたが、その 8 年近くの長い航海の後 180 名すべてが帰国できたわけではなかったよう

です。病死したりしたものはともかく、生きて異国の地でその生涯を終えた人達がいま

した。中国に渡った遣唐使などもそうした人々であると思

います。ちなみに仙台の月の浦から出た一行はメキシコのアカプルコに渡り、陸路で大西洋に出てキューバに渡りそこからカナリア諸島に行き、その後ジブラルタルから地中海に入りセヴィリアのコリアデルリオという町でスペインに上陸して陸路でマドリッドを目指しています。その後ローマに皇帝に面会に行ったりしていますが、その上陸地コリアデルリオという町に実は JAPON という姓を持った人々が現在 604 名住んでいます。

その人々の先祖をたどると 5 人の侍にたどり着くといわれています。スペインでは生まれた子供はその両親から姓を引き継ぎますが、きちんと結婚したならともかく、婚姻届などでされていなかったとしたら、正確な姓ではなくて JAPON としたのかも

かもしれません。今でも多くの日本人の祖先を持つといわれているその村ですが、今でも生まれてくる子供にその特徴でもある、蒙古班が現れると聞

きます。たった 5 人の侍が残したその足跡が 400 年も経った今でも残っていることに感動

します。5 人の侍たちがどんな気持ちでかの地にとどまりその後の生活を送ったかわかりませんが、遠い異国で故郷に思いをはせながらその思いを子孫に託していったに違

いありません。そしてそうした想いは私たち一人ひとりにも託されているはず

です。私たちはその祖先の思いに伝える為にも私たちに家族はもちろん、地域や国の発展を考

えてゆかなければならないと思

っています。

先人の意思、それを引き継いで行く私たちの意志、そうしたものを私たちは持って生き抜いてゆこうとしているわけ

です。海外に行くことによって自分や自分たちの国が見えてくるといったことは良く

〔ニコニコBOX〕

洪谷修身

「早退します。」

今泉憲治

「茂木 正部門委員長、本日はよろしくお

願いします。」

茂木 聡

「公式訪問の随

行協力ありがとうございます。」

茂木 正

「昨日は、加藤ガバナーに同行して志木 RC に伺

いました。」

中島高夫

「二度目の結婚式を挙

げることが出来ました。今後共宜しくお

願いします。」

笠原 勝

「9月19日(土)本庄市民文化会館でふるさと本庄歌謡祭を開催します。入場無料ですので、皆さん見に来て下さい。」

関口礼子

「よろしく9月もお願いします。」

「茂木 正会員卓話をよろしくお願いします。」

田中 克 橋本恒男 横尾 巧 野村正行 井下 典
温井一英 福島文江 金井直樹 武井包光 坂本優蔵
杉山淑子 八木茂幸 下山正男 春山茂之 須永秀和
戸谷清一 金子 章 野澤章夫 五十嵐敦子 竹並栄一郎
岡崎正六

〔出席報告〕

会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出 席 会員数	出 席 率
68名	5名	63名	48名	92%

次回プログラム

9月10日(木) 午後12時30分 第2例会

埼玉グランドホテル

卓話 地区・新世代部門委員長 野口健吉様

広聴広報委員会 矢島淳一・飯塚明男・岩淵富男・塚越 茂・笠原 勝・山田喜一

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 埼玉グランドホテル本庄700号

〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

例会場 埼玉グランドホテル本庄

Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>